

塾生の皆様へ

冬休みにはエチケットを身に着けよう(3)
—「AFTER YOU (お先にどうぞ)」は、世界の常識—

開倫塾
塾長 林明夫

1. 開倫塾では、エチケットを含むしつけ教育を行っております。
2. 今日、開倫塾の塾生の皆様にお伝えしたいのは、「AFTER YOU (お先にどうぞ)」という、世界の常識、エチケットです。
3. 外国の方を含めて、人格・品性ともに優れた方すべてが身に着けているのが、この「AFTER YOU (お先にどうぞ)」のエチケット、マナーです。
4. 例えば、エレベーターに乗るときは、相手の目を見て「お先にどうぞ」といい、乗る順番を譲り、決して先に乗らずに後から乗ります。
5. 逆に、エレベーターを降りるときは、ドアの前にいる場合を除いて、相手の目を見て「お先にどうぞ」といい、決して先に降りずに後から降ります。「ドアを開く」のボタンを押し続けて、最後に降ります。
6. バスや電車に乗るとき降りるときも、相手の目を見て「お先にどうぞ」といい、順番を譲るのが世界の常識です。
7. 建物や部屋に入るときと出るときも、相手の目を見て「お先にどうぞ」といい、順番を譲るのが世界の常識です。
8. 「AFTER YOU (お先にどうぞ)」は、ことばに出さなくて、手や目で示すこともできます。
9. 高齢者や妊産婦、病気や障害をお持ちの方に、「お先にどうぞ」は当たり前のことで、世界の常識です。
10. 自分が男性の場合は、女性には常に「AFTER YOU (お先にどうぞ)」です。
11. これからは、エレベーターやバス、電車にわれ先に乗り込んだり、われ先に降りたりするのは、よほど急いでいる場合を除き、お避けになることをお勧めします。
12. 順番を譲るときは、恥ずかしがらずに、「相手の目を見る」こともお忘れなく。今日から、「AFTER YOU (お先にどうぞ)」を、家庭でも、学校でも、開倫塾でも、地域社会でも実行し、世界の常識を身に着けてくださいね。

2016年12月22日(木) 7時31分